

もっと知りたい！  
食のこと

# 節分と 食物アレルギー



今年も早いもので2月になり、もう暦の上では春です。とはいって、まだ寒い日が続いているのですが、まちアボの読者の皆様はお元気でお過ごしでしょうか？

2月の節分の日に行う行事として「豆まき」があります。節分は本来、季節を分けることを意味し、立春、立夏、立秋、立冬の前の日をさしています。現在は、立春の前の日をさすことが多く、その日に行われるのが「豆まき」です。「鬼は外、福は内」大きな声で豆をまくことにより、邪氣を追い出し、その1年、家族が無病息災で過ごすことを願うというものです。

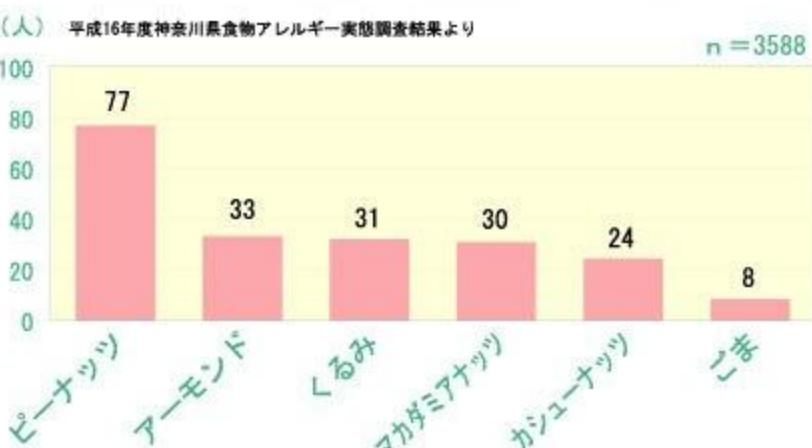
この豆まきに使われる豆ですが、従来は煎った大豆が使われるところが多かつたようですが、最近では、豆まきをしたあと拾つて食べることができます。落花生のほか殻付の落花生を使用されることができるなどの理由から、にも、アーモンド、くるみ、マカデミアナッツ、カシューなッツ、ごまなど種実類によつてもアレルギーが発症しています。また、めずらしいところでは、松の実によるアレルギーの症例が昨年秋の学会で報告されました。幼

生など種実類アレルギーについてお話ししたいと思います。落花生のアレルギー患者は、わが国でも多く、神奈川県で実施した調査でも種実類のなかで1位でした。

た（図）。毎年、米国では50名以上の方が、落花生アレルギーによるアナフィラキシー・ショックで命を落としています。落花生のほかでは昔から殻付の落花生をまいしていました。皆様がお住まいの方ではいかがですか？

今月は節分にちなんで、落花生などの種実類アレルギーについてお話ししたいと思います。落花生のアレルギー患者は、わが国でも多く、神奈川県で実施した調査でも種実類のなかで1位でした。

## 種実類のアレルギー



板垣 康治

神奈川県衛生研究所  
アレルギー研究プロジェクト  
総括リーダー／医学博士